



# 湘南桜友会報

第10号 平成21年12月1日発行

発行責任者 竹内 猛  
編集責任者 内海 孝夫  
事務局 茅ヶ崎市中海岸 4-4-11  
浦田憲一方

## 故標副会長を偲んで

湘南桜友会会長 竹内 猛 (昭和33年政経)

平成17年に間宮前幹事長を、そして今年標副会長を失なうことになってしまいましたが、お二人共本会の創立と育成にご努力頂いた方々であり、心から感謝申し上げますとともに御霊のご冥福をお祈りするものであります。

ここに、過日、標家主催で行われた葬儀での弔辞を要約し、改めて標副会長を偲ぶよすがにしたいと思ひます。

## 標 文雄さん、ありがとう、そしてさようなら

「標さん、もう帰るの？もう一杯やっついでいこうよ」と誘っても「悪いけど、一寸お先に」といって、この一・二年先に帰ることが多く、健康に留意されていたものと思ひていました。

なのに、突然この場に立つ時が来るとは・・・。

いくらなんでも、早すぎるよ、標さん。

貴殿とは、学習院昭和寮以来ですから、約五十年。昭和三十年代の昭和寮新木会の頃から今の昭和寮会まで、それこそ種々ありましたが、寮祭をはじめ全ては、青春を引きずったイベントと事件ばかりでしたね。こうした中で標さんは、寮史編纂や会計監査という、割合堅い役職を担当されていましたが、そういう会務より、貴殿が居るだけで場が和むという特技—その笑顔と話術が、どれだけ険悪な雰囲気を変えてくれたことでしょうか。

大先輩方からも信頼され、可愛がられていた標さんでした。貴殿の居ないコンパやコンペは、淋しくなりますが、そんな時こそ、皆が昭和寮の太陽だった標さんを想い出すと思ひます。

長い間有難うございました。

ここに我等が青春の歌「昭和寮逍遥歌」を捧げま



す。

競う万朶の花吹雪 月はおぼろに香をこめて  
君が情けの玉杯に 汲みては返す花宴

汝が悲しみに我は泣き 汝が喜びに我踊る  
人生意気に感じては 若き血潮火と燃えん

さて標さん、設立六年目をむかえた湘南桜友会からもお別れの言葉を述べさせていただきます。

湘南桜友会は頭初から、初等科・中・高・短大・大学と幅広い教育範囲の卒業生を対象とした同窓会組織ですが、「湘南に住み、学習院を卒業した」という共通項はあるものの、年齢も生活様式も異なる人々の集まりであり、これをまとめて運営することは、仲々困難なことでありました。

でも貴殿は、設立準備委員として、又設立後は副会長として、見事にこの会を明るく活発な会に育ててくれました。

普段は潤滑油、ときには導火線となって活動して下さった標さんに、心から感謝いたす次第です。

標さんの居ない昭和寮会も湘南桜友会も、貴殿の気持ちを引き継いで、今後とも頑張ります。

また私どもは、桜友会の互助精神にのっとり、残されたご家族に対しても、出来るだけのお力添えをいたす所存です。

いつも「俺は、東京浅草生まれの下町っ子。育ちは、甲府と茅ヶ崎。そして大学は弁論部」といい乍ら、全ての部分のDNAを持っていた標さん！

どうか向こうでも、明るく楽しくお過ごしください。

そしてゴルフは、80を切る事を祈っています。

最後に院歌を捧げます。

平成二十一年六月四日

学習院昭和寮会

湘南桜友会

会長 竹内 猛

学習院院歌

一、もゆる火の火中に死にて

またあるる不死鳥のごと

破れさびし廢墟の上に

たちあがれ新学習院

二、花は咲き花はうつらふ

過ぎし世の光榮ふみしめて

まなかいに世界ををさめ

現実を生きてしぬかん

<合掌>

(院歌と昭和寮道遥歌は参列者と斉唱しました。)

### <会員の近況/活動>

#### ～落語を楽しもう～

南部忠恭(昭和39年政経)

日本の古典芸能の一つである落語が静かなブームを迎えている。落語を聴いて抱腹絶倒すれば、眠りがちな脳も一段と活発になる。私が落語に興味をもち始めたのは大学に入学してからである。当時はモノクロテレビが家庭に入り始めたころで落語はラジオで耳にするくらいだった。



大学を卒業してから良く足を運んだのが、有楽町にある東宝名人会である。その後ずつと落語を趣味として人生を歩んできたが、やがて聴くだけでは物足りず高座で一席演じたくなってきた。

平成18年、藤沢市役所の落語研究部主催の藤沢落語会が、年に数回市役所で開催されていることを知り入門と相成った。市役所のメンバーはOB、現役合わせて4名であるが、創設40年の歴史がありレベルが高い。入門すれば定期的に勉強

会、発表会があると思いきや、すぐ高座に上がって下さいと言われた。こりゃ大変なことになったと尻込みしそうになったが、ずうずうしくも18年の秋から落語を演じている。勉強はもっぱらCD・DVDによることが多いが、寄席には極力顔を出し芸の吸収に努めるようにしている。

加齢とともに、記憶力の低下が著しいのでセリフを覚えるのに悪戦苦闘している。遠くて近きは男女の仲、近くて遠きは芸の道。自分の目標とする芸に到達するにはまだ先は長い。

#### ～絵ごころ～

油井和子(昭和48年文学)

私は藤沢に60年近く在住しております。結婚しても藤沢近辺に住み続け、44歳の時、鎌倉のある総合病院の手術室で助手として1年ほど仕事をしました。



あまりの激務と手術室という特殊な環境の中での仕事でしたので、辞めた後、もっと人間臭い事をしたいと思いました。

高校の先輩のアドバイスに従い、藤沢の朝日カルチャーセンターで油絵を習い始めました。いきなり中級クラスに入り、最初の3ヶ月は苦痛でした。ベテランの年配の方が多い中、同世代の若い先輩が2人いていろいろ励ましてくれました。

この教室で2人の先生から絵の手ほどきを4年ほど習い、あとは家で大作(畳1畳ほど)を一人で描いていました。時々偶然に知り合った抽象画を描く女性の先生に絵のアドバイスをもらい、いくつかの公募展に出品していました。初出品で独立展と上野の森大賞展に入選し気を良くしていました。しかしその後はぱっとせず、やはり入選を狙うなら先生に就いた方が良いと思い、昨年末から関内の大作クラスに通い始め、仲間と切磋琢磨しながら絵を描きました。

お陰で今年は念願の独立展に入選することができました。暫くはこのクラスで頑張ってみようかと思っております。

～春夏秋冬～「120歳を生きる」

内海孝夫 (昭和36年政経)

120歳を目標にスポーツクラブに鋭意努力してかよっている通り道に、今年もポツンと辛夷こぶしの花が咲いている長閑な墓地がある。以前より墓の造成をしていたので、いずれお世話になる住まいでもあり、“私達が住むところは随分窮屈なんですね、ゆっくり寝ていられますね！”と、よせばいいのに気の良さそうな職人さんだったので、覗きこんで声をかると、この暇人のわたしの顔を見上げて“旦那、しょっちゅう訪ねてくる奴がいなくて静かだいいんだよ！”とにっこり笑ってくれた。なんとなく安心した気分になって帰途についた。

海辺の近くに住んでいることもあり、好んで砂浜を散策する。海水浴日和に波打ち際(渚)を素足でいると、その足元で力強く寄せては引き返す、実にタイミングのよい波のリズム、その狂うことなく、休むことのないこの素晴らしい仕草は、一体誰が操っているのだろうかと思議に思う～まるで生きるうえでの模範の様に……。とりわけ好天の日の間近にそびえる富士を拝みながら、青い、蒼い湘南の海の澄んだ空気の中にいると心が安まる。

街を散策していると、屋敷の片隅に沢山の果実を結んだ柚子の木の、やがて落葉となっていく風景すがたがなんともいとおしい。その品の良い果皮の香気が食卓をおちつかせるものだ。ある時、物識りと自負する友人が“その控えめな果実を花として観賞できないかね！”と……。この年になって又一つ教えられた様な錯覚におちいった。

落ち葉を踏む頃になると、レクイエム(鎮魂ミサ曲)の合唱に明け暮れた学生時代が蘇る。とりわけフォーレのレクイエムを好んだ。一杯飲んだ帰り路には、ほろ酔い気分で「第9」を口遊んでいたものだったが、いつの間にか「カラオケ」に変革した。情けないやら、淋しいやら、楽しいやらの三つ巴である～ピオラも40年近く壁に寄り掛ったまま、気持ちよくぐっすりと寝ている。

老いがくるとどうしても下り坂を静かに歩い

ていきたい気になってしまう。でも、ただ下り坂を見ているのは寂しい。坂道は向きを変えれば上り坂。事実として体的には下り坂としても、意識的に上り坂であるという状況をつくり、創造的になることが大切だ！という言葉思い出す。

企業人として、海外の後進国(砂漠やジャングル)での11年余りの厳しい単身生活を考えあわせると、生きることの大切さというより“有難さ”をしみじみ感じる今日この頃である。

[21年度(前半)の事業・サークル活動報告]

\*地引網大会

当日8月1日(土)はうす曇りの地引網日和となり、滋賀県、千葉、東京在住の会員、ご家族、お子様を含め60名の方々が参加され、子供達の宝探しのイベントの後、全員で綱を引き種類の魚がかり、シラス等の天婦羅を堪能し、夏休みの楽しい一日を過ごしました。



\*バーベキュー・果物狩り大会

秋めいた9月5日(土)、さわやかな晴天に恵まれ、会員、ご家族20名が参加されて、全天候型の広いハウス「弁慶果実園」にてバーベキューを堪能、梨やブドウ狩りを楽しみました。



湘南桜友会バーベキュー・果物狩り大会2009年9月5日於・弁慶果樹園

**\* SUC交流・懇親会**

9月21日(月)、グランドホテル湘南にて、第13回SUC交流懇親会が17大学、170名の参加のなか、会員で最近メジャーデビューされた秦万里子さんのアトラクションを楽しみながら開催されました。お陰様で当会が幹事校として盛会裡にお開きにすることが出来ました。



**\* 21・秋「ウォーキングの会」**

10月20日(火)に12名が参加して、横浜の街(山下公園・横浜港・・・)を散策し、やや蒸し暑いなか14,000歩と頑張りました。



**\* 第4回会員交流ゴルフ大会**

11月16日(月)小田急藤沢ゴルフクラブにて第4回会員親睦ゴルフ大会を開催しました。鎌倉桜友会の5名の方々を含め13名の方が参加、快晴、無風の絶好のゴルフ日和に恵まれ、和気藹々とプレーを楽しみました。栄えある優勝は鎌倉桜友会の石島 道章氏でした。

来年の開催日は11月15日(月)を予定しておりますので、より多数の方のご参加をお待ちしております。



**[22年事業計画・サークル活動予定]**

- \* 2月初旬～中旬 鎌倉・東慶寺座禅と観梅
  - \* 2月中旬 春季・ウォーキングの会
  - \* 5月8日(土) 第7回総会、懇親会
  - \* 6月初旬 会報発行(第11号)
  - \* 7月末 地引網大会
  - \* 9月初旬 バーベキュー・果物狩り大会
  - \* 9月18日(土) SUC交流・懇親会
  - \* 10月中旬 秋季・ウォーキングの会
  - \* 11月中旬 湘南を巡るゴルフ大会
  - \* 12月初旬 会報発行(第12号)
  - \* 12月初～中旬 クリスマス・年忘れ懇親
- ～事務局便り～

当会の事業計画については、「地引網大会」、「バーベキュー・果物狩り大会」、「クリスマス・年忘れ懇親会」等恒例化しておりますが、マンネリ化を防ぐため、会員の皆様方の新しいアイデアを期待しております。ご遠慮なく事務局にご意見をお寄せください。

本年度の「SUC交流・懇親会」は、幹事校として準備を重ねた結果、お陰様で盛会、好評裡に終える事ができました。役員の皆様大変ご苦労様でした。

**[新会員の方の住所& Tel]**

- \* 藤貫 里子 昭和30年女子高等科  
〒254-0904 平塚市高村 203 高村団地 8-1045  
Tel: 0463-31-6371

**編集後記**ヨチヨチ歩きの創刊号から、皆様のお陰でヤットコ第10号まで辿り着くことができました!有難うございました。